

株主・投資家の皆様へ

第65期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

Contents

- p1-2 トップメッセージ
- p3-4 セグメント別の概況
- p5 CSRへの取り組み
- p6 ニュース・アラカルト
- p7-8 連結財務諸表
- p9 会社データ
- p10 株式データ



阪和興業株式会社

阪和グループの 現在・未来を語る

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは平成23年9月30日をもちまして、第65期第2四半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成23年12月



代表取締役会長 北 修爾

代表取締役社長 古川 弘成

第2四半期の経済環境について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、比較的堅調に推移した新興国経済に対して、欧州でのソプリンリスク懸念による金融不安やアメリカ経済の回復の鈍化など先進国経済の不振、加えてこれまで景気回復を下支えしてきた中国の金融規制による引き締め政策などのために、全体としては回復基調に停滞が見られました。また、国内経済におきましては、東日本大震災の影響により低下した製造業の稼働状況は持ち直しつつあるものの、個人消費や建築需要は依然として低水準にあり、電力規制による経済活動の停滞や円高の進展、さらに震災復興計画の立案の遅れも加わって先行きの不透明な状態にありました。

第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の売上高は、鉄鋼事業や石油・化成品事業が堅調だったことや連結子会社が増加したことなどにより、前年同期比17.8%増の7,626億48百万円となりました。また利益面では、営業利益は同49.8%増の101億9百万円、経常利益は同37.4%増の101億9百万円となったものの、四半期純利益は株式市況の下落による投資有価証券評価損の特別損失への計上などにより、同2.8%減の38億22百万円となりました。

通期の業績見通しについて

世界経済は米欧経済の停滞により金融市場や為替が不安定な状態にあり、新興国においても中国での金融規制による景気調整や米欧向け需要の減少による経済の下振れ懸念など先行きの不透明感があります。また、日本経済は東日本大震災直後の停滞からは脱しつつあるものの、円高が続くことなどからの製造業の一層の海外シフトが懸念されている他、冬場の電力不足による経済活動の停滞も心配されております。民間の建設需要の回復や早期対応が必要な復旧事業の進展は期待できるものの、復興需要の本格化には今しばらく時間がかかる模様であり、10月に発生したタイの洪水による日系企業などの生産活動の停止がサプライチェーンを切断することの影響も併せて、先行きは不透明な状況にあります。

連結業績予想につきましては、足下の事業環境などを鑑み、平成23年5月13日に発表しました業績予想を変更いたしました。現時点における通期の連結業績は、売上高1兆4,850億円（前期比6.4%増）、営業利益174億円（同25.6%増）、経常利益150億円（同11.2%増）、当期純利益68億円（同17.4%増）を見込んでおります。

株主・投資家の皆様へ

当社グループとしましては、引き続き不透明感の払拭されない厳しい事業環境の中にあっても、各事業分野における需要動向を的確に把握し、取引先のニーズを反映した適切な販売・在庫政策を採ることにより、業績の維持・向上に注力していく所存です。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

また、併せまして、本年3月の東日本大震災により被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

阪和グループの現状(連結データ)

売上高

□ 第2四半期累計期間
■ 通期

当第2四半期累計期間の売上高は7,626億円。

(単位:億円)



営業利益

□ 第2四半期累計期間
■ 通期

当第2四半期累計期間の営業利益は101億円。

(単位:億円)

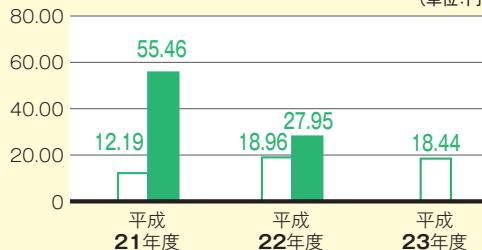


1株当たり四半期
(当期)純利益

□ 第2四半期累計期間
■ 通期

当第2四半期累計期間の1株当たり純利益は18.44円。

(単位:円)



セグメント別の概況

鉄鋼事業



●主な取扱品目

<条鋼> 異形棒鋼、ネジ鉄筋、鋼管杭、H形鋼、平鋼、角鋼、軽量形鋼、セメント、各種建設工事
 <鋼板> 厚板、熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板
 <特殊鋼他> 特殊鋼、鍛造品、ステンレス鋼、線材製品、鋼管、製鋼原料

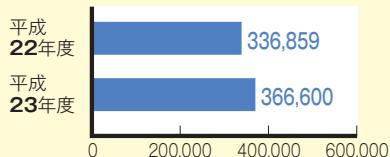
3,666 億円



鉄鋼事業においては、製造業向け需要が東日本大震災直後の停滞局面から急速に回復し、低水準にあった建築土木需要も東日本大震災関連の復旧工事等により大きな落ち込みはなく推移しました。一方、鋼材価格については、主原料や鉄スクラップ価格の上昇に伴って上昇の気配は見せたものの、震災による経済活動の停滞や中国での供給過剰、原料需給の緩和などにより頭打ちとなりました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比8.8%増の3,666億円、セグメント利益は同4.4%減の43億66百万円となりました。

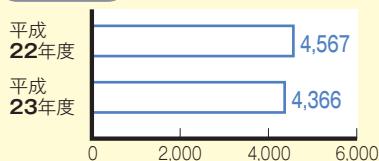
売上高

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



セグメント利益

□ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



金属原料事業



●主な取扱品目

ニッケル、クロム、合金鉄、ステンレス屑、チタン屑、シリコン、太陽電池原材料

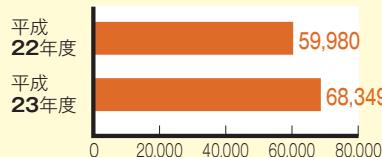
683 億円



金属原料事業においては、国内高炉が震災直後の落ち込みから稼働を回復させる一方で、ステンレス分野では世界的な生産調整が継続するなど需要はまだら模様の状況でした。他方、ニッケル国際価格や合金鉄価格は欧米や中国での金融環境の変化やステンレス製品需要の先行き不透明感などにより軟調な推移でしたが、全体としては前年同期に比べ高い水準にありました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比14.0%増の683億49百万円、セグメント利益は同29.2%増の23億5百万円となりました。

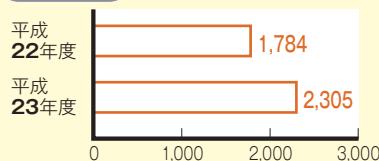
売上高

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



セグメント利益

□ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



非鉄金属事業



●主な取扱品目

銅、アルミニウム、亜鉛、鉛

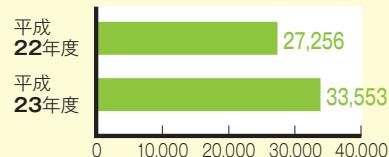
335 億円



非鉄金属事業においては、国際商品価格は金融環境の変化により期中で下落基調に転じましたが、前年同期に比べ高いレンジでの値動きとなりました。スクラップの発生は低水準にあり、タイトな状況が継続しましたが、需要面は震災の影響が一時あったものの、自動車関連が急回復し、その他の分野でも概ね堅調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比23.1%増の335億53百万円、セグメント利益は同125.1%増の15億87百万円となりました。

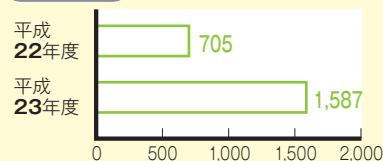
売上高

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



セグメント利益

□ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



食品事業



●主な取扱品目

エビ、カニ、サケ、カズノコ、アジ、サバ、シシャモ、タコ、ウナギ、ニシン、カレイ、赤魚、スリミ、加工品

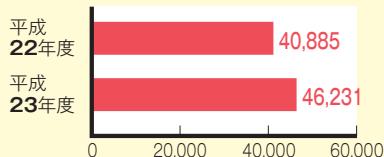
462 億円



食品事業においては、海外市況が引き続き高い水準にあり、国内においても低水準な流通在庫や震災による国内水揚げの減少見通しなどにより市況は概ね高い水準を維持し、需要も比較的堅調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比13.1%増の462億31百万円となりましたが、セグメント利益は同6.8%減の9億49百万円となりました。

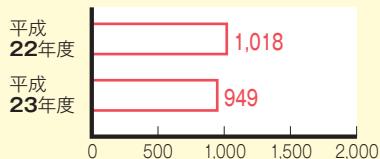
売上高

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



セグメント利益

□ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



石油・化成品事業



●主な取扱品目

石油製品全般、船用石油、石油化学製品、合成樹脂、紙製品

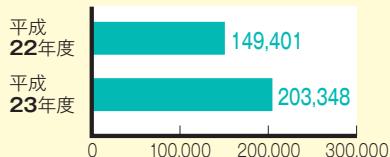
2,033 億円



石油・化成品事業においては、原油価格が金融市場の影響を受けて上下する中、震災後に上昇した国内製品価格は増産や緊急輸入などにより徐々に下落しました。石油製品需要は震災による経済活動の停滞により全体としては低調だったものの、原発事故による電力不足の代替としての電力向け需要は増加しました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比36.1%増の2,033億48百万円、セグメント利益は同86.5%増の13億28百万円となりました。

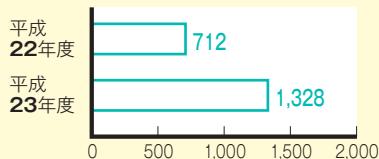
売上高

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



セグメント利益

□ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



その他の事業



●主な取扱品目

<木材>住宅構造用製材品、各種合板
<機械>各種遊戯機械、鉄鋼関連産業機械、環境関連機械
<その他>環境関連事業

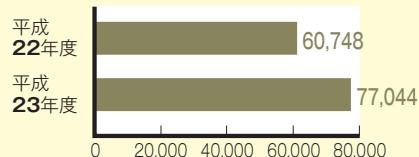
770 億円



その他の事業においては、海外販売子会社の業況が概ね堅調に推移したことや木材事業での輸出の増加、機械事業での大型レジャー機械の販売などにより、売上高は前年同期比26.8%増の770億44百万円、セグメント利益は同27.6%増の14億22百万円となりました。

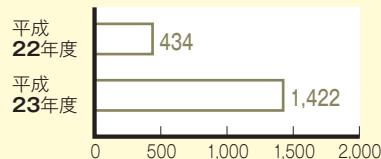
売上高

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



セグメント利益

□ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)



CSRへの取り組み

阪和興業のCSRに関する基本的考え方

当社では、CSR経営の推進のために、平成16年4月に「CSR委員会」を設置し、法令及び社会規範を順守するとともに透明性に優れた経営体制の確立を目指すなど企業の社会的責任への取り組みを積極的に推進しています。

1 法令順守の徹底

2 環境への配慮

3 「良き企業市民」
としての
社会貢献活動

4 透明度の高い経営、
積極的な情報開示

5 財務面での
高い健全性の
維持

6 従業員が
生き生きと働ける
職場作り

環境への配慮（環境ビジネスについて）

当社は、環境負荷が比較的小さい商社として、広範な事業活動を通じて環境に貢献することに努めています。

1) 資源の循環で循環型社会システムに貢献しています。

…中古鋼材、各種スクラップ、バイオマス燃料等

2) 資源・エネルギーの有効活用にご寄与しています。

…太陽光発電架台、風力発電機部材、
スチールハウス工法、間伐材の輸出

3) 生物多様性の保全に貢献しています。

…森林認証、水産資源保護

4) 汚染から環境を守っています。

…クロムフリー鋼板、
高耐食性メッキ鋼板等

阪和メタルズ（株）
スクラップ専用ヤード



社会貢献活動

当社は、「良き企業市民」として、国際社会及び地域社会に広く貢献するため、様々な活動を行っています。

1) 寄付活動…寄付活動を通じた災害救済、国際支援等

2) 地域社会貢献…清掃活動・防災訓練への参加、 地域行事への寄付活動

3) 芸術・スポーツ・文化活動への支援…芸術・スポーツ・ 文化活動に対する寄付活動



大阪御堂筋の清掃活動
「クリーンおおさか」に参加



CSRに関する当社の活動は、 HPで詳しく紹介しています。

当社は、平成22年10月に当社として初めての環境・CSR報告書を発行しました。さらに本年8月には、その内容を見直した上で、第二版を発行しております。ホームページにその内容とCSRに関する当社の取り組みを掲載しておりますので、詳しくは当社ホームページをご覧ください。

<http://www.hanwa.co.jp/company/>



阪和興業株式会社 堺流通センター 及び九州流通センターの建設

当社は、堺市に所有する約9.2ヘクタールの土地に、堺流通センターの建設をスタートしました。平成24年1月の竣工後、現在の大阪南港流通センターを移転し、平成24年4月の営業開始を予定しています。堺流通センターの鋼材保管能力は現在の1.4倍で、関西地区における在庫能力の拡大と物流の効率化を図っていきます。なお、同センターは建物の屋根に太陽光発電システムを設置するなど、環境に配慮した設計となっています。

また、福岡県筑紫野市においても、平成24年4月の稼働を目標に、新たに九州流通センターの建設をスタートしました。顧客利便性の向上と地場密着の営業強化により、ユーザー・特約店との共生強化を図ってまいります。



堺流通センター
完成予想図



三重鋼業株式会社外観

三重鋼業株式会社の 完全子会社化

当社は、平成23年7月1日をもって三重鋼業株式会社の全株式を取得し、当社の完全子会社としました。同社は、昭和47年に設立された厚板の溶断加工を主体とする鋼材加工業者で、レーザー加工機、NCガス切断機等の切断設備やショットブラストなどを備え、厚鋼板の一貫加工が可能な体制を整えています。月間の最大加工量は約1,000トンで、これにより、小口需要家への供給機能強化を図るとともに、国内需要の深耕に注力してまいります。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)	前連結会計年度 (平成23年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	441,832	423,204	流動負債	289,902	288,073
現金及び預金	19,123	20,707	支払手形及び買掛金	161,278	156,546
受取手形及び売掛金	281,344	274,348	短期借入金	83,597	90,942
たな卸資産	109,010	101,350	コマーシャル・ペーパー	18,000	18,000
その他	33,439	27,868	1年内償還予定の社債	68	250
貸倒引当金	△1,085	△1,071	未払法人税等	1,246	442
			賞与引当金	1,956	1,766
			その他	23,755	20,125
固定資産	109,831	109,593	固定負債	147,218	134,265
有形固定資産	51,316	47,041	社債	20,050	10,000
土地	30,496	29,248	長期借入金	117,573	115,075
その他(純額)	20,819	17,792	退職給付引当金	169	133
無形固定資産	653	684	その他	9,426	9,056
投資その他の資産	57,860	61,867	負債合計	437,121	422,338
投資有価証券	37,931	41,533	純資産の部		
その他	22,302	23,010	株主資本	114,643	111,840
貸倒引当金	△2,373	△2,677	資本金	45,651	45,651
			資本剰余金	4	4
			利益剰余金	70,411	67,608
			自己株式	△1,424	△1,423
			その他の包括利益累計額	△2,453	△2,058
			その他有価証券評価差額金	279	952
			繰延ヘッジ損益	737	106
			土地再評価差額金	△183	△183
			為替換算調整勘定	△3,288	△2,935
			少数株主持分	2,352	677
資産合計	551,663	532,797	純資産合計	114,541	110,458
			負債純資産合計	551,663	532,797

Point

Point

Point

四半期連結損益及び包括利益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	前第2四半期連結累計期間 〔平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで〕
売上高	762,648	647,172
売上原価	736,811	625,652
売上総利益	25,837	21,519
販売費及び一般管理費	15,727	14,771
営業利益	10,109	6,748
営業外収益	2,134	2,650
営業外費用	2,134	2,038
経常利益	10,109	7,360
特別損失	3,307	564
税金等調整前四半期純利益	6,802	6,796
法人税等	2,859	2,827
少数株主損益調整前四半期純利益	3,942	3,969
少数株主利益	120	38
四半期純利益	3,822	3,931
少数株主利益	120	38
少数株主損益調整前四半期純利益	3,942	3,969
その他の包括利益	△386	△3,139
四半期包括利益	3,556	829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,427	814
少数株主に係る四半期包括利益	129	14

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	前第2四半期連結累計期間 〔平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで〕
Point 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,736	△30,532
Point 投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,178	△6,560
Point 財務活動によるキャッシュ・フロー	△110	24,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	△506	△516
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,058	△12,636
現金及び現金同等物の期首残高	20,586	24,514
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,440	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,968	11,878

Point

●総資産・純資産の状況

総資産は、売上高の増加に伴う売上債権やたな卸資産の増加などにより、前期末比3.5%増の5,516億円となりました。

純資産は、四半期純利益の積み上がりや少数株主持分の増加などにより、前期末比3.7%増の1,145億円となりました。

●キャッシュ・フローの状況

>>営業活動によるキャッシュ・フロー

好調に推移した事業収益が、運転資金需要の増加を吸収したことなどにより、37億円の増加となりました。

>>投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産や投資有価証券の取得による支出などにより、61億円の減少となりました。

>>財務活動によるキャッシュ・フロー

社債発行等で長期資金の手当てを行った一方で、短期借入金返済を進めたことなどにより、1億円の減少となりました。

会社データ (平成23年9月30日現在)

会社の概要

社名 阪和興業株式会社
英文社名 HANWA CO., LTD.
設立 昭和22年4月1日
資本金 456億5,127万6,790円
従業員 1,205名

主な関係会社

(国内) 阪和流通センター東京(株) 阪和流通センター大阪(株)
阪和流通センター名古屋(株) 阪和エコスチール(株)
阪和スチールサービス(株) エスケーエンジニアリング(株)
(株)ハロース トーヨーエナジー(株)
昭和メタル(株)
(海外) HANWA AMERICAN CORP. 阪和(香港)有限公司
阪和貿易(上海)有限公司 長富不銹鋼中心(蘇州)有限公司
HANWA THAILAND CO., LTD.
HANWA STEEL SERVICE (THAILAND) CO., LTD.

国内・海外拠点 ネットワーク



【国内】

本社: 大阪、東京
支社: 名古屋
支店: 北海道(札幌)、東北(仙台)、
新潟、中国(広島)、九州(福岡)
営業所: 北関東(高崎)、水戸、厚木、
沖縄(那覇)
事務所: 八戸(東北支店)

※平成23年10月3日、新たに静岡営業所を
開設いたしました。

【海外】

北米・南米: ニューヨーク、シアトル、ヒューストン、ロサンゼルス、サンディエゴ、
バンクーバー、グアム、ボゴタ
東アジア: 北京、上海、香港、大連、青島、重慶、福州、広州、中山、東莞、太倉、武漢、
台北、高雄、ソウル、釜山
南アジア: バンコク、チョンプリ、シンガポール、クアラルンプール、タワウ、
ジャカルタ、ムンバイ、ニューデリー、チェンナイ、ホーチミン、ハノイ
欧州・中東他: ロンドン、ウィーン、アムステルダム、クウェート、リヤド、ジェッダ、
ダンマン、ドバイ、ヨハネスブルグ

役員状況

代表取締役会長	北 修爾	取締役	辻仲 弘明
代表取締役社長	古川 弘成	取締役	松岡 良明
専務取締役	秋元 哲郎	取締役	森口 淳宏
常務取締役	西 吉史	取締役	貝田 忠彦
常務取締役	北 卓治	取締役	江島 洋一
常務取締役	川西 英夫	取締役	十川 直之
常務取締役	芹澤 浩	取締役	加藤 恭道
常務取締役	海老原 弘	取締役	口石 隆敏
常務取締役	小笠原 朗彦	常勤監査役(常任)	白川 敏昭
取締役(※1)	関 收	常勤監査役(常任)	浅井 照夫
取締役(※1)	藪下 史郎	監査役(※2)	田口 敏明
取締役	馬締 和久	監査役(※2)	与謝野 肇
取締役	豊田 雅孝	監査役(※2)	小林 正典

(※1) は社外取締役であります。

(※2) は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	570,000,000株
発行済株式の総数	211,663,200株
株主数	13,772名(前期末比99名減)

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,179	8.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,375	5.0
株式会社三井住友銀行	7,630	3.7
阪和興業取引先持株会	5,345	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,739	2.3
阪和興業社員持株会	4,608	2.2
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	4,380	2.1
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	3,500	1.7
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	3,449	1.7
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,150	1.5

(注)上記のほか、当社は自己株式4,394,350株を保有しており、持株比率は当該自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (所有者別)

自己名義株式

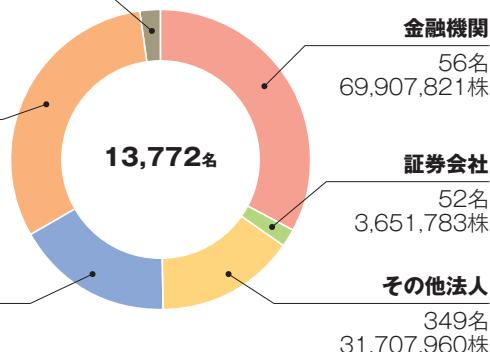
1名
4,394,350株

個人その他

13,145名
65,824,594株

外国法人等

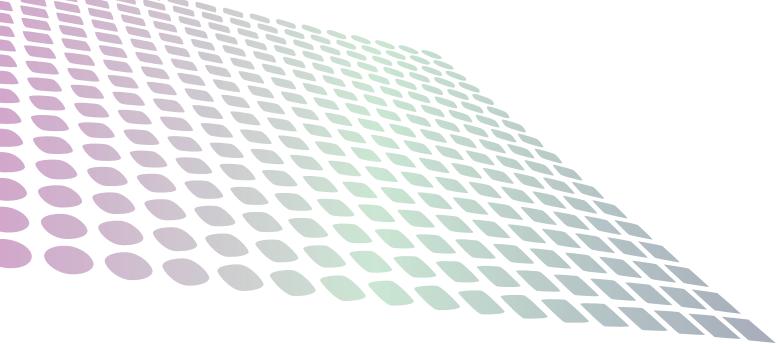
169名
36,176,692株



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.hanwa.co.jp/koukoku/index.html) ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-176-417
インターネットホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所 市場第一部
証券コード	8078

- 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座について
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



HANWA CO., LTD.
<http://www.hanwa.co.jp>

証券コード **8078**

